

主催：明治大学文学部フランス文学専攻
明治大学人文科学研究所総合研究「現象学の異境的展開」

国際シンポジウム

アジアにおける一個人

ピエール・パシェの作品を読む

現代世界を生きる個人をめぐって独自の思考を展開した作家ピエール・パシェ。今年6月に逝去した彼の仕事を日仏中の読み手が振り返る。

Colloque international

UN INDIVIDU EN ASIE
LECTURE DE L'ŒUVRE DE PIERRE PACHET

2017年1月21日 | 土

13:00-18:00

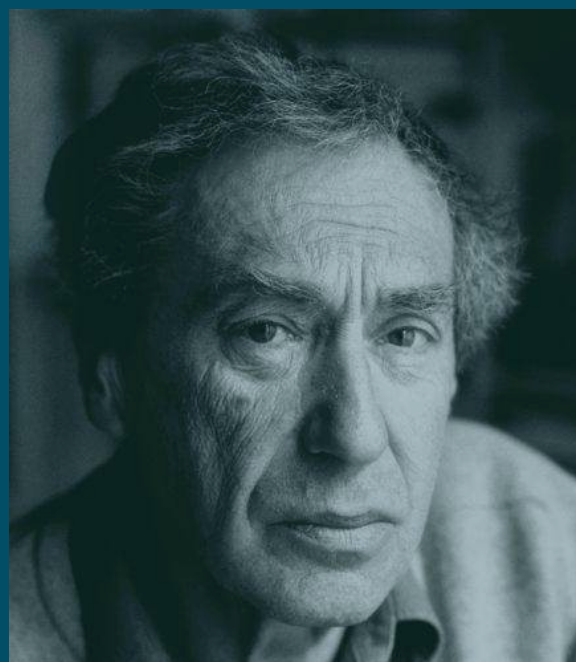
明治大学駿河台キャンパス

千代田区神田駿河台1-1

リバティタワー7階 1074号室

使用言語：フランス語（逐次通訳付）

予約不要 | 入場無料



イントロダクション

13:00 | 根本美作子（明治大学）

「ピエール・パシェとの会話」

第一部 | 個人を考える

司会 | ギヨーム・ペリエ

13:30 | 安原伸一郎（日本大学）

「無言の言葉を聞く——『父の自伝』について」

14:00 | 裴佳平（ブランシュ・チウー | レンヌ第2大学）

「『愛なくして』——枯れた女性への理解ある好奇心の目」

第二部 | 生と仕事の毎日

司会 | 根本美作子

14:40 | ギヨーム・ペリエ（京都大学）

「本の記憶——『パリを離れて』」

15:10 | 笠間直穂子（國學院大學）

「感覚、アイディア——『日々の営み』」

第三部 | 中国における一個人

司会：安原伸一郎

15:50 | 程小牧（シャオム・チェン | 北京大学）

「中国旅行記における魂について」

16:20 | 李金佳（ジンジア・リ | INALCO [フランス国立東洋言語文化研究所]）

「不寝番の中国旅行——感性の政治の試み」

全体討論

17:00-18:00

